

# 西要寺だより

第91号 平成31年2月26日



## ●お稚児さんの募集

今年の5月19日（日）に西要寺住職の継職法要をいたします。その法要中に稚児行列を行いたく存じます（西要寺より出発し、若松公園を一周する予定です）。つきましては、参加されますお稚児さんの募集をします（右写真はイメージです。衣装について変更がある可能性もあります）。かわいいお稚児さんの衣装を着て練り歩きましょう。ご門徒の皆さまの子どもさんや孫さん、ご親戚の子どもさんだけでなく、お知り合いの方にも声を掛けていただきたく存じます。一生の記念になります！詳細については、西要寺までお問い合わせ下さい。



## ●『歎異抄』のお話

「歎異抄」の講座のご案内です。神戸別院（阪急花隈駅すぐ）で行われます。浄土真宗本願寺派総合研究所の研究員が、やさしく解説します。「歎異抄」には親鸞聖人の魅力がつまっています。「歎異抄」の解説書は非常に多くありますが、どれも難いとお感じのことでしょう。昨年、京都で開催しましたが、それよりもさらにわかりやすくしましたので、もう一度、聞きたいという人も、初めてという人も、是非お申し込みしてください。親鸞聖人の教えが詰まった「歎異抄」をご一緒に学びましょう！受講料は無料です。

2019年度  
初めて学ぶ  
『歎異抄』講座

高麗の僧侶といはれたいわゆる「親鸞」のスタイルを学んで、やさしく楽しむ講座です。続々とセミナーで二週間に学びましょう！

全5回

第1回	2月17日(日)	午前 第九巻(1) 午後 第一巻	午前部 10:00~11:45 (受付9:30~)
第2回	3月17日(日)	午前 第二巻 午後 第三巻	午後部 12:00~15:25
第3回	4月20日(土)	午前 第四巻 午後 第五巻	午後部 13:00~15:25
第4回	5月18日(土)	午前 第六巻 午後 第七巻-第八巻	午後部 13:00~15:25
第5回	6月22日(土)	午前 第九巻-第十巻 午後 終巻	午後部 13:00~15:25

●会場 別院いっしょ会 浄土真宗本願寺派総合研究所(総合研究所) 阪急花隈駅すぐ  
〒650-0149 兵庫県神戸市東灘区花隈2-1-1 TEL:078-371-5204 FAX:078-371-5701  
●協力 兵庫県教育庁本願寺神戸別院(〒650-0149)

日時は、①. 2月17日（日） ②. 3月17日（日） ③. 4月20日（土） ④. 5月18日（土） ⑤. 6月22日（土）です（①は済んでいますね）。時間は、午前部は、10時～11時45分、午後部は、13時～15時25分です。連続講座ですが、参加できる日（午前か午後かの選択

も可)だけでも構いません。詳細につきましては、直接、西要寺までお問い合わせください。ちなみに私(副住職)の担当は、③(4月20日)の午後です。

## ●「大きくなったら何になるの？」

先日、「ないおん」という法話などが掲載されている冊子を読んでいましたら、上のような題の法話が載っていました。

法話を書かれたご住職のお父さん、先代の住職さんは、現在92歳。だんだんと身体が自由が効かなくなり、少し認知症気味で、一昨年あたりから、夕食を済ませると「わしやあ、今から何をすればええんかのう？」

と聞かれるそうです。当面の答えは、「食事が済んだのだから、あとは歯を磨いて寝るだけでいいよ」となるのですが、ご法話を書かれたご住職は、そのお父さんの言葉を聞くたびに、人生究極の問いに出会っているように思われています。長年、お寺の住職を務めてきたけれども、自分の息子に住職を譲って、これから残りの人生をどう過ごせばいいのか。

「わしやあ、今から・・・?」、その言葉がそのように聞こえるということです。

ご法話は続いて、もうお亡くなりになっている永六輔さんの『大往生』という、かつて大ベストセラーとなった本から、次のようなエピソードを紹介されています。ある日、永さんが、風呂(大衆浴場?温泉?)に入っていたら、お年寄りの方が話しかけてこられた。

「孫がね、孫が言うんですよ。『じいちゃん大きくなったら何になるの?』と。」孫は、自分に問われた問いをそのままじいちゃんに質問したということです。小さな子どもは、大きくなってどのような職業につくのか、夢を語る事ができるでしょう。しかし、じいちゃんは、もう大きくなりすぎているわけです。ですから、どう答えればいいのかわからない、と困惑されておられるということです。

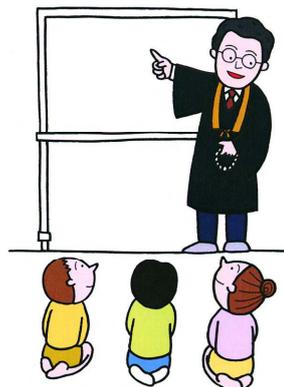
実は、孫に問われたその問いは、じいちゃんにとってはずごく重要で、本質的な問いだと言われます。永さんは、「じいちゃんは、大きくなったら、仏さんになるんだよ」と答えたらどうですか、と提案したら、「喜んでもらえるかと思ったら、嫌な顔をされた」というところで、永さんの記述は終わっています。

じいちゃんが嫌な顔をされたというのは、「仏さまになるということ」を、単



に「死ぬこと」ととられたということですよ。

龍谷大学では若い学生以外に一般の人向けの講座があります。だれでも受けることのできる講座です。仏教の講座には定年後に来られている男性の方が多いです。家族のために一生懸命に仕事をされてきた方が、定年を迎えて家で過ごす時間が大半を占めるようになります。家族のためにと思って仕事をされてきましたが、定年後は家族のみなさんはどのような状態かといえば、子どもさんは結婚して家から出て行かれています。奥さんは趣味に走って家におられません。つまり、定年を迎えられた



その方は、家で一人ぼっちの状態になっているのです。そこで、仏教を学びに来られているというのです。定年後に新たに趣味を見つけることは難しいでしょう。そこで、仏教を学び、今までの自分を見つめ直し、これからの自分のあり方を考えていくということが重要になってくると思います。西要寺でも毎月22日に法座があります。手軽に仏教を学ぶことができます。最初のうちはよくわからないかもしれませんが、何度も足を運んでいただきたく存じます。そして、今までの自分を見つめ直し、これからの自分のあり方を私も含めてみなさんで考えていきたく思います。また、寺友（てらとも）も出来ますよ。お気軽にご参加ください。

※ちなみに西要寺の話をしますと、現住職は継職後、前住職（“前住”（ぜんじゅう）と呼んでください）として今まで通り、お参りをします。たぶん体力が続く限り??笑笑←まあ～、本人に直接、聞いてください。

## ●絵本のご紹介



「ママががんになった」—大好きなバレッタもつかえない。実は、絵本の作者の田中聡子さんのご主人は、私（副住職）の大学院時代の友人なのです。

この本は、抗がん剤で脱毛した母とのやりとりを、ユーモアを交えながら娘の目線で描く物語です。近年、若い有名人ががんになったということなど、がんに関するニュースが多いです。私自身も考えさせられます。がんと診断されこれから抗がん剤治療に取り組む方、現在抗がん剤治療中の方・・・、決して他人事ではあ

りません。ぜひ多くの人たちに読んでいただきたい絵本です。

## 最後に!!

「♪如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし 師主知識の恩徳も ほねをくだきても謝すべし ♪」西要寺の法要に限らず、浄土真宗のお寺の法要に参拝すると、最後にこの歌「恩徳讃」を歌います。お寺の日曜学校に来られていた人や、お寺の幼稚園・保育園に通っておられた方（西要寺も昔、保育園をしておりました）は、この歌をご存じのことでしょう。「恩徳讃」の歌詞は親鸞聖人が作られた和讃（仏やその教えなどを讃えた詩）です。本願寺派においては、「恩徳讃」に付された曲は2種類あります。現在は清水脩（1911~1986）作曲のもの（「新譜」と呼ばれる）が主流ですが、以前は澤康雄（1888~1932）が作曲したもの（「旧譜」と呼ばれる）がよく歌われていました。澤康雄が「恩徳讃」を作曲した地は、なんとハワイなのです。19~20世紀初頭の日本からハワイへの移民には、真宗門徒が少なくありませんでした。移住した真宗門徒は、ハワイでも礼拝の習慣を決して絶やすことはありませんでした。欧米の教会においては伝道的手段として音楽もあり、当時の仏教界でも仏教音楽が求められていたのです。それに応ずるようなかたちで、当時本願寺ハワイ別院に赴任していた澤康雄が、さまざまな仏教讃歌を作曲しました。その一つが「恩徳讃」なのです。ハワイ生まれの仏教讃歌「恩徳讃」が日本に伝わり、日本でも歌われるようになったのです。（副）

## ◎今後の西要寺行事予定◎

### 【定例法座】

3月22日（金）午後2時より 4時頃（予定）まで

講師：東光直也師（龍谷大学講師 京都女子大学講師）

場所：西要寺会館（椅子席）

### 【定例法座】

4月22日（月）午後2時より 4時頃（予定）まで

講師：未定

場所：西要寺本堂（椅子席）

### 【住職継職法要】

5月19日（日）午後1時より（予定）

（時間等詳細につきましては後日、お知らせします）

講師：佐々木義英師（浄土真宗本願寺派総合研究所 教学伝道研究室室長）

場所：西要寺本堂など